



「おおきなきがほしい」をよんで

幡代小学校 一年二組 川口紗依子

このほんは、かおるくんがきのうえにいえをつくり、そこでくらすおはなしです。ほんとうのいえではなく、そうぞうしたいえです。

このおはなしのなかで、わたしは、かおるくんがきにのぼって、けしきを見るところが、いちばんこころにのこりました。

わたしも、かおるくんみたいにおおきなきのうえにいえをたてたいとおもいました。わたしのいえのやねは、あおいろです。そのなかには、ベッド、つくえ、キッチンをおきます。そこで、ふじさんがみえるけしきのえをかきたいです。

このおはなしには、はる、なつ、あき、ふゆのいえのようすがでてきます。なつに、かおるくんは、ホットケーキをつ

くっていました。わたしだったら、クッキーをつくって、とりたちにもあげたいとおもいました。

あきには、そのとりたちが、へやにはいつてきたはっぱのそうじをてつだってくれたらいいなとおもいました。

かおるくんは、おかあさんにそうぞうのきのはなしをしましたが、おかあさんは、いもうとのせわがいそがしくて、はなしをきいてくれませんでした。でも、おとうさんは、きちんとはなしをきいてくれて、そうぞうしたきのいえのえもみてくれました。そして、ほんとうにおおきくなるきをうえてくれました。

わたしは、うえたきがそだって、かおるくんのそうぞうのきのようにおおきくなったらいいなとおもいました。そのきのうえに、そうぞうどおりのいえができるといいですね。

そのとき、わたしもそのきにのぼって、かおるくんのいえにはいつて、いっしょにあそびたいとおもいました。